おおむら
元気企業紹介
vol.24
秋　号

がんばってます！
まちのものづくり企業

代表　井上 浩人 氏

花屋での経験を生かしてフラワーアレンジやプリザーブドフラワーをプロデュースする井上さん。「良い製品を全国に売り出すのに、拠点は大村でも十分。これからの起業家の使命は、都会から地方へ収益を流すことではないでしょうか。」と熱く語ってくれました。

ニーズに応えた製品は心を込めた贈り物
サニーサイドファクトリー

母の日や記念日などに贈られてうれしい「プリザーブドフラワー」。水やりが不要で寿命が長く、美しく保存できるため贈答用のお花として多く利用されています。中央商店街アーケードの一画にある「サニーサイドファクトリー」は、西日本各地の花屋さんに、そのプリザーブドフラワー製品を販売しています。

同社代表の井上さんは、平成8年から花材問屋を営んでいましたが、西九州一円で営業するなかで、プリザーブドフラワーの全国的にもめずらしい、「セミオーダー制」の販売方法を確立。その販売方法が成果を上げ、平成18年4月に「サニーサイドファクトリー」を設立し、翌年に現在の場所に移転しました。

それまでプリザーブドフラワーは、花屋に資材を販売し、そこで組み立てられていましたが、「花屋で組み立てるのなら、自分たちでよりよいものを作って提供しよう。」と、セミオーダー制に目を付けた井上さん。発注を受けてから製作することで、お客さんのニーズに合わせて質のよい製品を提供することができ、いろいろな無駄が省かれ、利便性が増したといいます。現在は、西日本の花屋や雑貨店を中心に販売を行っており、年間で8万点のプリザーブドフラワーを、ここ大村で組み立てて出荷しています。

作業場には所狭しと、色とりどりの花が並んでいて、お客さんのオーダー通りに、製品が組み立てられていきます。「母の日や敬老の日などの行事の前には生産が追い付かない。」こともあるそうですが、細かいアレンジにも対応し、一つひとつ手作業で組み立てられます。また、このほかにも、フラワーアレンジの出張スクールなども行っていて、結婚式でのブーケ作りに来られるお客さんも多いそうです。

同社の従業員はすべて地元からの雇用です。子育て世代の女性を中心に、雇用を生み出しています。「地元の活性化を望んでいます。大村で生み出したよりよいものを全国で販売し、地元に還元する。地元にいてもできることがあります。これからも自信あるものを全国に売り出して、地元の活性化に貢献していきたい。」と、井上さん。挑戦はまだまだ続きます。

㈱サニーサイドファクトリー
本町330　☎㊸5683
代表　井上　浩人
従業員数　25人